

平成30年第1回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

平成30年1月19日（金）午後4時
第一分庁舎2階会議室

2 出席者

教育長 島山敏一
2番 宮本玲子
3番 細川 祝
4番 伊東潤一郎

3 出席職員

次長兼教育総務課長	武田 寛	学校教育課長	上坂一弘
生涯学習・スポーツ課長	宮崎 悟	地域協働課長	吉崎 敏
図書館長	初道 ゆかり	学校給食センター所長	藤田 晶子
埋没林博物館長	高田 弘美	魚津水族博物館長	稲村 修
総務係長	米澤 祐治	学校教育係長	田村 理子
生涯学習・文化係長	塩田 明弘	スポーツ係長	木下 英暖
市民交流係長	松島 千賀	子育て支援係長	石浦 満理子
保育係長	山本 春美		

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時、島山教育長が開会を宣する。

(1) 前回会議録の承認について

全員異議なく承認した。

(2) 議案

議案第1号 魚津市教育委員会行政組織規則の一部改正について

米澤総務係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第2号 魚津市立住吉小学校、上中島小学校、松倉小学校の統合小学校の新たな校名について

米澤総務係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第3号 魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について

松島市民交流係長から説明し、全員異議なく承認した。

(3) 報告事項

- ① 新しい魚津市室内温水プールの整備について
- ② 子どもの貧困支援事業計画にかかるアンケート調査結果について
- ③ 魚津市立図書館行事予定（1月～3月）について
- ④ 魚津水族博物館事業について

(4) 議事

【子どもの貧困支援事業計画にかかるアンケート調査結果について】

細川委員

子どもの貧困支援事業計画にかかる実態調査の分析において、望まれる支援と可能な支援についてまとめているが、現状で子どもや保護者が希望をすればその支援を受けることができる体制なのか。

石浦子育て支援係長

現状では必ずしも十分とは言えず、本調査を基に支援事業がより拡充できるよう来年度予算要求を行っているところです。

細川委員

本市でもひとり親家庭に対する、「子ども食堂」といったものは実現するのか。

石浦子育て支援係長

現状調査では、今現在そのような支援が必要としている世帯は少ないと把握している。ニーズがあれば考えていきたい。

宮本委員

市が行っている支援制度を知らない人もいると思うので、もっと周知する方法はないのか。

石浦子育て支援係長

市広報やHP等でお知らせはしている。また、学校や保育園では子どもやその保護者とも密接に関わっており、市関係課や関係機関とも連携しながら支援事業を行っていきたい。

伊東委員

今回のアンケートにより支援する中身を検討しているが、支援が目的ではない。
子どもをどうしたいという目的があり、それを実現するためにどのような支援が必要かを考えるべきである。

【新しい魚津市室内温水プールの整備について】

伊東委員

室内温水プールの整備について、現在のプールは40年使っており、維持修繕費が大きな負担となっている。民間に意見を聞く際にはメンテナンス等も含めた長期的な維持計画も必要ではないか。

宮崎生涯学習・スポーツ課長

今回の「サウンディング型市場調査」では民間事業者との意見交換により基本構想策定の参考とした。より詳しい管理・運営面については基本設計等もう少し進んだところで検討していきたい。

【魚津水族博物館事業について】

宮本委員

今、ふるさと教育について取り組んでいるが、水族博物館のホタルイカの事業はなかなかコース選択に入っていないようだが。

上坂学校教育課長

現在、5年生でふるさと発見バス事業を行っている。その中で魚津の三大奇観のうち、埋没林と蜃気楼については埋没林博物館で見学可能である。ホタルイカについては、シーズンが3月から5月というこ

とで本事業のスケジュールとはタイミングが合わないのが現状です。

稲村水族博物館長

水族館から各学校へ出前事業等ができないか検討している段階である。暗室や職員派遣の問題などクリアしなければならない問題がある。水族館サポーターの協力も含めて将来的にはできるようにしたい。

午後4時45分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。